

J-FLECによる講師派遣事業など



金融経済教育推進機構(通称:『J-FLEC』)は、特別の法律に基づき国の認可を受け、中立・公正な立場から、官民一体で金融経済教育を推進する唯一の公的機関です。J-FLECでは、全国の企業や学校・公民館等に講師を派遣し、金融経済に関する様々なテーマの出張授業を無料で実施しています(土日・祝日も実施可能です)。

講師派遣をご希望の方は、J-FLECホームページ内の「講師派遣(出張授業)申込フォーム」よりお申し込みください(派遣希望日の45日前までにお申し込みください)。

<https://www.j-flec.go.jp/instructors/>



01 講師派遣事業

学校だけでなく、企業や公民館、放課後児童クラブなど、幅広い場面でご利用いただけます。

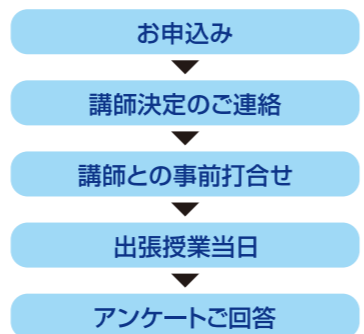
●講師派遣の概要

実施日時	土日・祝日を問わず、講師を派遣 年末年始期間(12/29~1/10)は除きます。
講義時間	45~120分程度 ご要望に応じて調整いたします。
講義方法	対面・オンライン オンライン講義で使用するURL・ツールは申込者にてご用意ください。
講義資料	年齢階層別の「標準講義資料」*を使用 サンプルをホームページからご確認ください。 *詳しくは「ウェブサイト・SNS」の「教材・コンテンツの無償提供」をご覧ください。 なお、高校生以下では上記以外のアクティブラーニング型の教材も利用可能です。
費用	講義料や派遣に係る交通費は無料 講義資料を印刷して配付する際の費用等は申込者のご負担となります。



詳細はこちら

●お申し込みから当日までの流れ



02 パッケージプラン

通常の講師派遣では、お申込み後、講義資料の内容について講師とご調整いただきますが、講師との事前調整不要で簡単にご利用いただける「パッケージプラン」もご用意がございます。ぜひご確認ください。

プラン名	パッケージ内容
親子向け出張授業	小学生とその保護者を対象に、おこづかいをテーマに親子で学べる講座です。貯金箱づくりやおこづかい帳のつけ方などお子様向けのワークも行います。
小学生向け出張授業	小学生を対象に、おこづかいなどをテーマに講義時間別(45分、60分、90分)で構成した講座です。貯金箱づくりやおこづかい帳のつけ方などのワークやアクティブ・ラーニング方式で株式による資金調達仕組みを理解する学習プログラムなどを行います。
大学生向け連続出張授業	大学生を対象に、キャリアセンターなどにおいて、大学への入学時・就活前・卒業前と3つの時期を捉えた講座です。必要な時期に合わせて必要なテーマを学んでいただけます。
大学連携講座	大学生を対象に、大学における1講座・15コマ(2単位相当)を想定したプログラムです。J-FLEC以外の団体とも連携したオムニバス形式で提供する講座です。
公民館・公共施設等	公民館・公共施設等に対して、受講者層別(親子向け、社会人向け、シニア層向け)に提供している講座です。

03 オンライン講座

若手社会人(20代)、中堅社会人(30~40代)、ベテラン社会人(50代~)向けに、J-FLEC講師による講義動画を、無料でご提供いたします。

標準講義資料を用いて、家計管理、生活設計から資産形成、金融トラブルの防止など(ベテラン社会人向けには老後資金の考え方や相続なども)、幅広いテーマを扱っています。

若手社会人向け 重点版(60分)

若手社会人向け
社会人として知っておきたいお金の話

家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止などについて、重点的に学べます。

中堅社会人向け 重点版(60分)

中堅社会人向け
将来に向けて知っておきたいお金の話

家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止などについて、重点的に学べます。

ベテラン社会人向け 重点版(60分)

ベテラン社会人向け
リタイア前後に知っておきたいお金の話

定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、相続・贈与・終活などの概要、金融トラブルの防止などについて、重点的に学べます。

J-FLECホームページおよび講師派遣パンフレットより引用 ※この広報誌は再生紙を使用しています。

2025年度

しまね金融広報だより



島根県金融広報委員会(事務局:日本銀行松江支店)は、「広めようお金の知恵~ 自立的で持続可能な生活を送るために~」を2025年度の活動テーマに掲げ、「金融経済知識の普及」と「金融経済教育の推進」を目的に活動を行いました。1年間の主な取り組み等を紹介します。

島根県金融広報委員会は、日本銀行松江支店に事務局を置き、島根県をはじめとする地方公共団体や財務省、金融庁などの関係機関、金融経済団体などから構成される組織です。当委員会は、昭和25年の設立以降、中立・公正な立場から、金融経済教育について時代の要請に応じた活動を行っています。



<https://www.j-flec.go.jp/>

2026年3月発行

発行:島根県金融広報委員会事務局

〒690-8553 松江市母衣町55-3(日本銀行松江支店内)

TEL 0852-32-1509 FAX 0852-32-2042

<https://www3.boj.or.jp/matsue/kinkoui/index.html>



金融経済知識の普及活動

～広く県民の皆さまを対象に、金融経済知識の普及活動を行っています～

01 くらしとおかね講演会

2025年10月25日

- 講師：ファイナンシャルプランナー 風呂内 亜矢 氏
- テーマ：老後資金の賢い備え方を学ぼう

ライフプランニング表の作り方から家計改善や資産運用のポイントについてとてもわかりやすく丁寧に教えていただきました。ご来場の方々からは、「知らないことが多く、大変勉強になった」、「自分の今の状況を見直す良い機会となった」など多くの感想が聞かれました。

- 主催：島根県金融広報委員会、J-FLEC
- 会場：松江テルサ テルサホール



02 夏休み体験教室～おかねイロイロ探検隊!～

2025年8月5日、6日

子ども達にお金の役割や大切さ、日本銀行の仕事について学んでもらうとともに、保護者の方々に金融経済教育の重要性や日本銀行についての理解を深めていただくため、日本銀行松江支店と共催で毎年開催しています。

参加者からは、「お札の様々な偽造防止技術を知ることができた」、「これからはお金を大切に使いたいと思った」などの感想が寄せられました。

- 主催：島根県金融広報委員会、日本銀行松江支店、J-FLEC
- 会場：松江商工会議所、日本銀行松江支店

- 小学校1年生～3年生向け 日銀のお仕事体験(お札の数え方、偽造防止技術)、カレー作りゲーム等
- 小学校4年生～6年生向け 日銀のお仕事体験(お札の鑑定・鑑査、偽造防止技術)、おこづかいゲーム等
- 全学年共通 日銀ロビー見学および仕事内容の説明、展示物見学



▽ 展示物見学



▽ お札の鑑定体験



▽ カレー作りゲーム



03 金融経済教育公開授業 in 雲南市立寺領小学校

2025年11月28日

金融経済教育研究校として2年間研究・実践に取り組んでいただいた雲南市立寺領小学校では、生活科の授業を公開したほか、菊地幸夫氏による講演会を行いました。

- 主催：島根県金融広報委員会、雲南市立寺領小学校、J-FLEC

- 後援：島根県教育委員会

- 内容：①公開授業
生活科の授業(2年生)
「ポップコーンの売り上げの使い方を考えよう」
- ②講演会
弁護士 菊地幸夫氏
「大事なことのみに学校で教えないもの＝お金」
- ③研究協議

▽ 公開授業の様子



自分だけではなく、周りの人が喜ぶお金の使い方について考えました

▽ 講演会の様子



お金の恐さや、お金との付き合い方について、力強くも優しいメッセージをいただきました



金融経済教育の推進活動

～学校における金融経済教育の支援を行っています～

04 島根県金融経済教育協議会

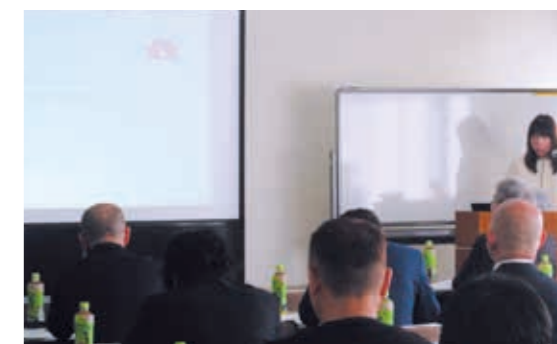
2026年2月17日

金融経済教育に対する理解を深め、学校における金融経済教育を推進することを目的に毎年開催しています。県内各地の小・中・高等学校等の教員や教育関係者の方々に多数ご参加いただきました。

- 主催：島根県金融広報委員会、島根県教育委員会
- 後援：J-FLEC
- 会場：島根県民会館会議室およびオンライン併用

- ◎ 基調講演は、ファイナンシャルプランナーの野々村千映子先生より「教室から伝えるお金の大切さ～生きる力を育む金融経済教育～」と題してご講演いただきました。これまで数多くの学校現場で金融経済教育の授業を実践されたご経験をもとに、子どもたちへお金について伝えることの必要性について教えていただきました。
- ◎ 金融経済教育研究校である3校には、創意・工夫に満ちた研究・実践の発表を行っていただきました。

▽ 講演の様
ファイナンシャルプランナー 野々村千映子 氏



研究校の実践発表より

● 島根県立瀬摩高等学校 (1年目)

毎年恒例の学校行事「瀬摩高フェア」では、販売学習を通じて仕入れや価格設定の方法について学びました。また、卒業を控えた3年生は、J-FLECの講師派遣事業や島根県の出前講座等を利用し、生活設計や家計管理、金融トラブルについて学びました。さらに2年生の家庭科の授業では、事前に現在の消費行動や将来のお金の不安についてのアンケートを実施し、今後身に付けるべき金融リテラシーや将来のライフプランについて考えることができました。



瀬摩高フェアの様子

販売活動の様子

● 雲南市立寺領小学校 (2年目)

以前より農業生産活動を取り入れた「食と農」の活動に取り組み、作物の栽培や収穫した作物の加工、販売活動を行ってきました。今年度も金融リテラシーマップに沿って取組みの整理を進める中で、働くことの意義やお金の適切な使い方について研究を深めました。2年生の生活科の授業では、ポップコーンの販売活動を通じて価格設定や売上金の使い道についても考えました。3年生、5年生、6年生はJ-FLEC講師を招いて、限りあるお金を計画的に使う方法やお金と上手につき合うために大切なことを学びました。



● 津和野町立日原中学校 (2年目)

修学旅行先で地元の特産品を販売する活動を通じて、お金を扱う責任の重さや、世の中のお金の流れなどを学ぶことができました。前年度の取り組みで気づいた課題を踏まえ、今年度は発注や価格設定にも挑戦しました。前年度の販売活動の売り上げも参考にしながら、それぞれの事業所の方と相談し、発注する品物や個数、金額について考えました。また、チラシやポップの製作にも工夫を凝らし、販売活動に臨みました。自分たちで仕入れを考えた商品の売り上げを振り返り、良かった点や今後の課題についても考えることが出来ました。



東京での販売活動の様子